

人差指で円を描く。(同) 掌を下に向けた右手を左肩辺りから前へ弧を描いて右へそれから後へ廻わして自分の体の周囲を意味させる。

収益 収入―儲うけ。

集合 「集まる」と同じ手まね。

習慣 毎日―習わし。

宗教 仏―キリスト―神―いろいろ―教え

終始 初め―から(時の流れ)―終り

終目 「一昼夜」と同じ手まね。

住所 「家」の手まねをして、左手の方をその姿態のままに残して置き、右手は五指の指頭を前方にさし、掌を左側に向けて、左手の指頭すれすれに上から下へ切り降すようにする。

就職(就任) 左手掌の上に右手の五指の指頭を集め合わせたその指頭をつけ、そのまま前にさし出す。契約に調印した書類をさし出

す意味か。

修身 掌を上に向けて拳にした両手を左右から二度ばかり打ち合わせる。

囚人 掌を下向けて拳にした両手を手首のところで交叉させる(両手をくくられた姿態)―男性(或は女性)

修繕 こわれる―造る

収入 「金銭」を表わした手を胸もとに引き寄せる。

習得 五指の指頭を上になし掌を前に向けた手を前方から頭の方へ引き寄せながら五指を握りしめ、頭の上につける。習得すべきものを頭に引き寄せ覚え込むと云うこと。

宿直 監視―寝る―当番

祝日 五指の指頭を上になし掌を内側にした両手を胸の前で手首のところでX形に交叉する。

国旗を交叉した模写、即ち「旗日」であ

る。

祝辞 祝う——云う

主人 家——男性（少し上へさしあげる）

出版 印刷——書物

主任 責務——男性（女性）

首領 「親方」と同じ。

生涯 生れて——から（時の流れ）——死ぬ

——まで（終り）

小学校 指頭を上にした右手人差指を、

指頭を前方にさした左手の人差指と中指の二

指の間に、隙間を置いて挟さむ「小」の形を

つくる——学校

上機嫌 「機嫌」の(ウ)

昇給 「給金」を表わして、胸もとに引き

寄せた「金銭」の手を上へ顔の前辺りにあげ

る。

商業（商売商い）と同じ。

正午 顔を時計の面として、人差指を時



針、中指を分針として、この二指をびったりとつけ合わせて、鼻筋の上に置く。正午の時の位置。

証拠 「揭示」と同じ要領で表わす。明らかに見せられたものと云う意。

招集 ——招く集める

上手 右手掌で左手腕を下へ撫で降す。

正直 四指を集め合わせた両手を腹の上で

指頭で左右につけ合わせ、一方の手を下方

へ、他の方を上方へとまっすぐに離して行

く。心がまっすぐである意味。

証書 紙——印判——頂く

少年少女 (ウ) 指頭を上にした右手の人

差指を、左手の指頭を向にした中指と人差指